

P C T

## 国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 TU02-1127WO1	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知（様式PCT/ IPEA/416）を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO2/13270	国際出願日 (日.月.年) 19.12.02	優先日 (日.月.年) 19.03.02
国際特許分類 (IPC) Int. Cl <sup>7</sup> B65D19/44		
出願人 (氏名又は名称) 根本 郁也		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
- ☒ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。  
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)  
この附属書類は、全部で 2 ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- I ☒ 国際予備審査報告の基礎
- II ☐ 優先権
- III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV ☐ 発明の単一性の欠如
- V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ☐ ある種の引用文献
- VII ☐ 国際出願の不備
- VIII ☐ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 12.06.03	国際予備審査報告を作成した日 06.01.04	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員)  阿部 利英	3N 8409
電話番号 03-3581-1101 内線		3359

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 1-7 ページ、 出願時に提出されたもの  
明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 出願時に提出されたもの  
請求の範囲 第 1, 3, 4, 6, 8-10 項、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1-2 ~~ページ~~/図、 出願時に提出されたもの  
図面 第 \_\_\_\_\_ ~~ページ~~/図、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
図面 第 \_\_\_\_\_ ~~ページ~~/図、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 出願時に提出されたもの  
明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 2, 5, 7 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1, 3, 4, 6, 8-10	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲	1, 3, 4, 6, 8-10	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1, 3, 4, 6, 8-10	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

- 文献1: US 5582114 A (GE Polymer Logisti  
c)、1996. 12. 10.
- 文献2: 日本国実用新案登録出願57-95873号 (日本国実用新案登録出願公  
開59-728号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマ  
イクロフィルム (株式会社キトー)、1984. 01. 06
- 文献3: JP 11-11478 A (ゼオン化成株式会社)、1999. 01.  
19
- 文献4: 日本国実用新案登録出願60-49185号 (日本国実用新案登録出願公  
開61-164126号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影  
したマイクロフィルム (日本電気株式会社)、1986. 10. 11
- 文献5: JP 2000-79942 A (イビデン株式会社)、2000. 0  
3. 21
- 文献6: 日本国実用新案登録出願4-20288号 (日本国実用新案登録出願公開  
6-18228号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したC  
D-ROM (有限会社上條紙器工業)、1994. 03. 08
- 文献7: 日本国実用新案登録出願2-126453号 (日本国実用新案登録出願公  
開4-84138号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影した  
マイクロフィルム (三菱電機株式会社)、1992. 07. 22

1. 本発明は、スパッタリングターゲットの取り出しや運搬が容易であり、ターゲ  
ットを破損せずに運搬ができるスパッタリングターゲット用運搬箱を提供するこ  
とを目的とするものである。
2. その目的を達成するための手段として、請求項1に係る発明は、「ターゲット  
の大きさの空所を備えた内枠、下板及び上板を備えたプラスチック製の内箱  
と、該内箱よりも内のが大きい外枠、底板、天板及び蓋を備えたアルミニウム  
製、木製、又はこれらとプラスチックを張合せた材料からなる外箱を有してお  
り、ターゲットを装入した内箱を外箱に入れて運搬するものであって、かつまた  
内箱のみを外箱から取り出して運搬でき、さらに該運搬箱の底板に機械運搬用  
の下駄と該底板の縁部に人力運搬用の車輪を備え、下駄の底板からの高さが、車輪  
の底板からの高さ以上である」ようにしたものである。
3. 国際調査報告で引用した上記文献には、請求項1に係る発明が採用した上記  
2. の手段が記載されておらず、また、その示唆もない。

補充欄 (いずれかの欄の大きさが足りない場合に使用すること)

第 V. 欄の続き

よって、請求項 1 に係る発明は、新規であり、進歩性を有するものであり、PCT 第 33 条第 2 項及び第 3 項の規定を満たしている。

4. 請求項 3, 4, 6, 8-10 に係る発明は、請求項 1 の従属請求項であることから、PCT 第 33 条第 2 項及び第 3 項の規定を満たしている。

5. 請求項 1, 3, 4, 6, 8-10 に係る発明は、産業上の利用可能性があるので、PCT 第 33 条第 4 項の規定を満たしている。

## 請 求 の 範 囲

- 5 1. (補正後) ターゲットの大きさの空所を備えた運搬箱であって、ターゲットの大きさの空所を備えた内枠、下板及び上板を備えたプラスチック製の内箱と、該内箱よりも内のりが大きい外枠、底板、天板及び蓋を備えたアルミニウム製、木製、又はこれらとプラスチックを張合せた材料からなる外箱を有しており、ターゲットを装入した内箱を外箱に入れて運搬するものであって、かつまた内箱
- 10 のみを外箱から取り出して運搬でき、さらに該運搬箱の底板に機械運搬用の下駄と該底板の縁部に人力運搬用の車輪を備え、下駄の底板からの高さが、車輪の底板からの高さ以上であることを特徴とするスパッタリングターゲット用運搬箱。
2. (削除)
3. (補正後) 車輪を備える底板の反対側の側面又は底板にハンドルを取り付け、
- 15 ハンドルによる運搬時に運搬箱を斜めにして車輪で荷重を支え、下駄が床面に干渉しないようにしたことを特徴とする請求の範囲第1項記載のスパッタリングターゲット用運搬箱。
4. (補正後) 運搬箱の周囲、角部、下駄等の各面に、建物の床面との衝撃を和らげる樹脂又は木材を貼付したことを特徴とする請求の範囲第1項又は第3項に
- 20 記載のスパッタリングターゲット用運搬箱。
5. (削除)
6. (補正後) 外箱の外表面に導電性の薄膜を貼り、帯電を防止したことを特徴とする請求の範囲第1項、第3項又は第4項のそれぞれに記載のスパッタリングターゲット用運搬箱。
- 25 7. (削除)
8. (補正後) 内箱に貫通式の取っ手を有することを特徴とする請求の範囲第1項、第3項、第4項又は第6項のそれぞれに記載のスパッタリングターゲット用運搬箱。

9. (補正後) 外箱と内箱の隙間にクッション材を入れて運搬することを特徴とする請求の範囲第1項、第3項、第4項、第6項又は第8項のそれぞれに記載の
- 5 スパッタリングターゲット用運搬箱。

10. (補正後) 外箱の蓋と外枠が取外し可能に固定できるジョイントを設けたことを特徴とする請求の範囲第1項、第3項、第4項、第6項、第8項又は第9項のそれぞれに記載のスパッタリングターゲット用運搬箱。

## 条約第 19 条 (1) に基づく説明書

- 請求の範囲第 1 項は、ターゲットの大きさの空所を備えた内枠、下板及び上板を備えたプラスチック製の内箱と、該内箱よりも内の方が大きい外枠、底板、天板及び蓋を備えたアルミニウム製、木製、又はこれらとプラスチックを張合せた材料からなる外箱を有しており、ターゲットを装入した内箱を外箱に入れて運搬するものであり、かつまた内箱のみを外箱から取り出して運搬でき、さらに該運搬箱の底板に機械運搬用の下駄と該底板の縁部に人力運搬用の車輪を備え、下駄の底板からの高さが、車輪の底板からの高さ以上であるスパッタリングターゲット用運搬箱であることを明確にした。また、同第 3 項、第 4 項、第 6 項、第 8 項又は第 9 項は、全て同第 1 項に従属する。

- ターゲットは、その単価が高額となり、運搬中に破損・割れが起こり易いという問題がある。一方、運搬したターゲットが、薄膜を形成する工場での取扱いが簡便であること、清浄化された建物内部の床面を疵つけないで運搬できること、運搬したターゲットが一人又は少人数で運搬が可能であり、容易に開包することができる等のことが必要である。本発明はこれに適した構造を有している。引用文献 1-7 は、個々の機能を断片的に有しているものの、これらの総合的機能を有せず、本件発明と大きく相違する。